



# JCNA 通信第 17 号

発行日 2015.5.25  
発行人 西村晶子  
編集人 西久保秀子  
創立 1957(S32)年  
会員数 243 人  
(2015.4 現在)

## 2014 年度テーマ

生きる意味を問う ～祈り、喜び、感謝して～

●ご挨拶：広島大会に心をよせて準備しましょう●

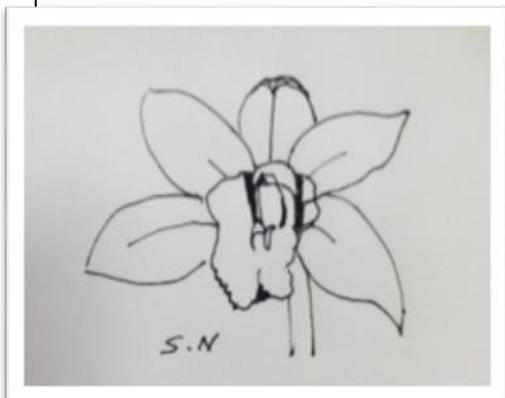
日本カトリック看護協会 会長 西村晶子

会員の皆様には、それぞれのおかれたところで、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。JCNA 通信 16 号では、第 57 回 JCNA 全国大会 in 広島に向けた報告が、支部長山口郁乃さまよりありました。そこには、『広島教区のほぼ西の端にかたまる会員は一般の病院や施設、または家庭の人。林神父様に牽引され、愛と祈りで一致してきました。病人や負傷者をつくる戦争や社会の不正にも目を向けます。全国大会準備中、ぜひお誘い合わせください』とありました。大会テーマは「平和への希求ー時代を生きる私たちの選択ー」です。

このメッセージで大切なことは『戦争や社会の不正にも目を向けます』というところだと思います。被爆 70 年、東京大空襲 70 年、戦後 70 年を迎えた私たちにとって、平和への希求は重大な意味を持っていると思います。平和のために何を希求するか、まずは戦争のない社会をつくることです。日本は戦争の反省から、平和憲法をつくりました、特に憲法 9 条は、戦争放棄を明確にしております。その結果、戦後 70 年日本には戦争によって亡くなられた方はおりません。平和の実現のためにはこの憲法 9 条を守ることが大きな選択です。憲法 9 条は、日本国民のためだけではありません、その証拠にノーベル平和賞にノミネートされました。このような動きは、世界中の人々が戦争放棄日本を支持する選択だと思います。戦争のない社会、米軍基地のない社会の選択は、命の尊重と全人類の幸福に関わる問題です。

広島大会はみんなで準備し、社会の不正にも目を向け、私たちの正しい選択のために、学び、考える機会にしたいと思います。特に、原発、核開発、繰り返される核実験、核兵器使用の危機、放射能汚染問題、等々、人々の健康と、命に関わる問題ばかりです。福島原発事故からも、放射能汚染、住民の健康問題、避難生活、問題は山積し解決の見通しも不明です。このような状況から考え、できるだけ速やかな全ての核のない未来を選択したいと思います。大会に参加し、平和の問題について交流を深め、学び、会員一人ひとりが、カトリックナースとしての平和への希求を求める心のあり方を分かち合いたいと思います。

私たちの活動は、一人ひとりが、霊的成長を目指し、目の前の人々をケアすることはもちろんですが、すべての人々のために、平和を求め、平和の実現のために正しい選択を全ての人々に訴えていくことも大切です。カトリックナースとして、平和の実現のために、正しい選択を学ぶ大会となりますように。みんなで広島大会成功のために祈りましょう。



広島教区メモ

教区管理者：肥塚倅司神父  
 信者数：21,069人  
 カトリック系  
 医療施設：0  
 社会福祉施設：22



# 全国大会in広島

被爆70年。カトリックナースとしての祈りと活動

被爆70年・戦後70年を迎える節目の年に開かれる全国大会。

中国地方でのJCNA全国大会は、第32回岡山大会(1990年)以来です。



山口支部長(左から2人目)と広島支部の皆様

## § インタビュー §

### 広島支部 山口郁乃支部長

質問：広島支部の組織について教えてください。

山口：教区名を背負っていますが、広島県、岡山県、島根県には会員はいません。過去にはおられたこともあるようですが、詳細は不明です。山口県の西部と鳥取県にいる会員は13名です。顧問は、下関労働教育センター所長の林尚志神父様です。また、会員ではないけれど、司教座のある鞆町ではイベントの救護奉仕をされるカトリックナースグループがあります。

質問：現在、支部では、どのような活動をされていますか。

山口：従来、ミサに始まる例会で、回勅や「いのちへのまなざし」など司教団の出版物の輪読と、乙女峠祭の救護、地区大会での救護、少年日韓交流の救護、ザビエル高校の学園祭、小野田老人ホーム文化祭などでの健康相談などを続けてきました。  
 しかし、会員募集を兼ねて外へ向かって働きかけよう、と外部に開かれた研修会を始めました。2012年度は島本祐嗣理学療法士による「終末期ケアにおけるリハビリテーション」2013年度はシスター小田美津江の「エチオピアでの体験報告」でした。大会担当が終了したらまた続けたいと思います。

質問：大会テーマは“平和への希求・時代を生きる私たちの選択”です。力強いメッセージを含んだテーマだと思いましたが、どのようにテーマが決まったのか、そのプロセスを教えてください。

山口：大会を引き受け時には、山口の少数の会員にできることとして、フランシスコ・ザビエルの宣教地での開催、津和野の殉教者の紹介はできる、ぐらいを考えていました。  
 しかし、広島支部の担当年次が繰り下がり、2015年となったことが大きな意味をあらわしてきました。「原爆被爆70年の年、担当が広島支部、となればテーマは『平和への希求』であるはず」というのが当時の会長城麗子氏のご助言でした。そして、広島と平和を言う時、放射能障害の問題ははずせません。それは病む人に寄り添う私たちの学ぶべきこと、放射能の被害で苦能の被害で苦しむ人に寄り添うこと、被害者を出さないこと—とふくらんでゆきました。過去を振り返ることは将来に対して責任をとることであると教えて下さった聖人故ヨハネ・パウロⅡ世の広島平和アピールに学び、今私たちが選択する内容によって子供たちの将来の平和と健康が決まることを自覚したのです。日本の過去が、戦争による被害者であるだけでなく加害者

であったことも忘れず、原子力の平和利用と言われた原発の影響もみつめて、次の時代のために今を生きる者としての選択をしたいと思います。そこで、サブタイトルを「時代を生きる私たちの選択」としました。

質問：広島大会に向けての意気込み、参加予定者にメッセージをお願いします

山口：山口県と鳥取県の会員にとっては、なじみの薄い広島での大会ですが、支部会員は、広島の地下の力を感じています。1945年8月6日広島に落とされた原爆により一瞬で惨殺された14万人の命の力です。今、復興して100万都市となっている広島は、みなさまをお待ちしています。平和と、放射能障害について、今年、この都市で共に学びましょう。ヨハネ・パウロⅡ世が巡礼され、マザーテレサも訪問された広島、どうぞこの大会にご参加ください。

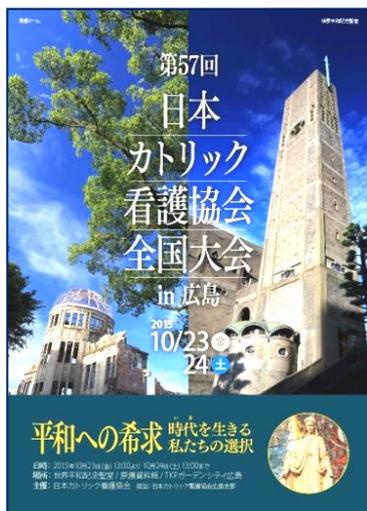


慰霊碑を背に 広島支部の皆様

質問：山口、鳥取にお住まいの皆様が広島で大会を開催されるのは、本当に並々ならぬご苦労がお有りと思います。くれぐれもお身体に気をつけてご準備ください。有難うございました。

### 広島大会プログラム(予定)

第1日目	第2日目
10月23日(金) 於：世界平和記念聖堂	10月24日(土) 於：TKP ガーデンシティ広島
12:50 オリエンテーション	08:55 オリエンテーション
13:00 開会式	09:00 基調講演 山田真医師(八王子中央診療所)
13:30 ミサ	シンポジウム 放射能がもたらしたもの
14:30 基調講演Ⅰ 飯塚倭司神父	座長 篠崎 文彦氏(JCMA)
15:00 基調講演Ⅱ 片柳弘史神父	山口裕子氏(原爆被爆体験)他
16:00 平和公園 広島平和記念資料館見学	12:30 閉会式
18:00 懇親会 於：TKP ガーデンシティ広島	14:00 碑巡り(希望者) 指導 肥塚倭司神父



## 新連載～顧問司祭から JCNA 会員への手紙 第1回

名古屋支部 顧問司祭 神言修道会 暮林響神父



会員の皆様、はじめまして。名古屋支部で川上誠神父様の帰天後に顧問を継がせていただいております、同じ神言会の暮林響(ごう)と申します。私は司祭叙階されてからすぐにアルゼンチンに出、この依頼は帰国して間もなかったもので、こうした大切な役目に相応しいか迷いましたが、私の曾祖母も祖母も看護師であったことも何かのご縁かと思い、この呼びかけに答えました。

母はよく病人訪問をするのですが、不思議な人で、病室に向かう時まるでスキップをするかのような軽快な足取りで向かい、病人の傍らで楽しそうに話します。思い出せば、祖母もとても明るい人でした。私は、この闇になぜか分からないけれど灯る光のような感じが、看護の基本ではないかと直感的に受け取っています。

寺本松野シスターの『癒しのこころ』という本の中で介護福祉士と看護のケアの違いがどこにあるかについて、「介護福祉士の方は生活の世話で、看護婦は治療的ケア」だと書いてありました。「ベッドから降ろす、そんなことでも、この人がいたのでは仕事が難しいからベッドから降ろすのではなくて、この人の為に、運動の為に、体力の為に、そんなふうな前向きな治療的な計画の中で自分のケアがあるというのが看護婦だ」と。

カトリック信者はこの模範をエリザベトのもとに向かう、お腹に神の御子を宿したマリアに見まします。皆様が、マリア様の取次により、心に光を灯しつつ治療的ケアを続けられますように。

### ◇◆暮林響(くればやしごう)神父 略歴◆◇

1977年 静岡生まれ

中学1年 神言会アーノルド小神学校(名古屋)に入り、南山中学、高校、大学に在籍

1999年 神言会で初誓願を立て、2005年に終生誓願、助祭叙階、司祭叙階。

2001年～ 通算7年間、アルゼンチンのミシオネス州で司牧実習と宣教。小教区での司牧と青年司牧、召命活動に打ち込む。

2012年 フィリピンでの神学生養成担当者コースの参加を経て、日本管区で神学生の養成に当たる。そのほか、非常勤講師として高校1年生と小学5年生に倫理および宗教を教える。週末には特に南米人司牧、青年司牧を行う。

2013年 日本カトリック看護協会名古屋支部顧問司祭就任。

中一から手話を勉強し、聴覚障がい者との関わりを持つ。大学4年の頃から、野宿労働者のための炊き出し支援に行ける限り顔を出している。実家に戻る機会があれば、両親のコーディネートのもと病人訪問。

記念植樹「蠟梅」の前で  
2015.4.24 於 磯子教会



### 飯野雅彦神父様 司祭叙階 50周年 金祝・記念ミサ

本部ならびに横浜支部顧問司祭の飯野神父様が、司祭叙階 50周年(金祝)を迎えられました。3月14日には横浜教区梅村司教様の主司式のもと、12名の司祭の方々と共同司式で“感謝のミサ”が執り行われました。JCNAからは西村会長、井坂副会長、平田本部役員が出席しお祝いしました。「できるだけ司祭職に忠実でありたいと願いつつ過ごしてきました。新たな心で牧者としてイエス様からの愛を伝える役割を果たしていきたい」とお話になる飯野神父様。これからもJCNAを宜しくお願い致します。

(引用：カトリック磯子教会 月刊磯子ニュース 2015年4月号)

# 支部活動☆短信

<p>◆札幌◆  <b>支部長 佐藤昇子</b>            今年、新たにもうお一人の方の入会がありました。また、長く会を支えてくださっている本宿さんが、ご復活に洗礼をお受けになりました。新年度の活動計画案もできあがり、希望と喜びに満ちた新年度の始まりです。</p>	<p>◆仙台◆  <b>支部長 古関睦</b>            震災から丸 4 年、被災者は新しい環境への不安や生活が安定しかえって増す寂しさ等をかかえております。被災者とネパールの人々のために、お祈り下さいませ。私達はそれを力にして、一人ひとりを心に留め、今後も寄り添っていきます。</p>	<p>◆新潟◆  <b>支部長 大瀧久江</b>            カトリック・ボランティア連絡協議会の全国大会に参加しました。会場は南三陸町でした。大震災からの復興住宅も建っていましたが、被災された方々の心の傷が大きく残っています。私達は祈りと私達のできる支援を継続していきます。</p>	<p>◆東京◆  <b>支部長 西村晶子</b>            2 月末、JCNA 全国大会 in 東京の大会誌を各支部に発送することができました。その他、JCMA 主催の研修会に参加し、協力して活動することを模索しております。次は、広島で会いましょう。</p>
<p>◆横浜◆  <b>支部長 井坂玲子</b>            3 月 14 日、顧問司祭飯野神父様の司祭叙階 50 周年記念金祝のごミサとお祝いが、梅村司教様をお迎えし磯子教会で催されました。記念の御絵に記された座右の銘「慈盈」に心が温まりました。神父様、いつまでもお元気で私達をお導き下さい。</p>	<p>◆名古屋・名古屋 G◆  <b>支部長 南原摩利</b>            名古屋支部では、6 月 13 日に布池教会で行われる松浦悟郎新司教様の着座式に皆で参加した後、金沢に向かい、翌日金沢グループの会員の方と交流会を持つ計画を立てています。             金沢教会で御ミサに与った後、新しくなった聖霊病院を見学させて頂き、金沢の街並みを歩きながら親睦を深める機会となればと願っています。</p>	<p>◆金沢 G◆  <b>宮村千草</b></p>	<p>◆京都◆  <b>支部長 西川加之子</b>            会員 10 名の支部。5 月の例会は分かち合い。テーマは教皇様が発表された病者の日のメッセージです。顧問司祭決定まで、できる方法で学んでいきます。全国大会のポスターを小教区と 2 施設 2 学校に郵送しました。</p>
<p>◆大阪・大阪 G◆  <b>支部長 向井定子</b>            姫路グループでは、阪神大震災後 20 年、毎月第 2 土曜日、大阪の釜ヶ崎地区へ出かけています。             藤原神父様指導の下始まった JCNA の活動が、今や病院の職員・研修医・ボランティアと広がっています。</p>	<p>◆姫路 G◆  <b>sr.川口百合子</b></p>	<p>◆広島◆  <b>支部長 山口郁乃</b>            10 月全国大会の準備中です。その間も大切な奉仕、青葉若葉の 5 月 3 日、島根県津和野町における乙女峠祭での救護です。津和野教会の委嘱の形でずっと続いています。聖歌を歌う長い聖母行列、峠のテントで待っています。</p>	<p>◆高松◆  <b>支部長 藤田芙美緒</b>            四国 4 県のうち、高知に 1 人、香川に 3 人いますがなかなか全員が集まることができません。2 か月に 1 回は集まれるように努力しています。救護班が必要な時は会員以外のご協力を得ています。7 月には教会学校のキャンプがあり、手伝う予定です。</p>
<p>◆福岡◆  <b>支部長 牧山幸二</b>            支部例会を 1 月 11 日と 3 月 8 日に行い、12 名が参加しています。会歌、本部からの連絡の伝達に続き、デンニ神父様が準備して下さった動画を見て分かち合いました。5 月は近隣支部との合同黙想会が予定されています。</p>	<p>◆長崎◆  <b>支部長 大山久美子</b>            日本の信徒発見 150 周年を機に教区シノドスが行われ新たな熱意、表現、方法をもって福音宣教に取り組もうとしています。4/11 に支部総会を行い復活された主イエスに信頼と希望をおき新年度スタートしました。5/17 は雲仙殉教祭の救護を予定しています。</p>	<p>◆大分◆  <b>支部長 阿南幸子</b>            顧問司祭李神父様のメッセージは、「使徒達の宣教」から「ナースはほんとうに任える者の喜びを知り患者の中にイエス様を見出す」でした。5/10 のルルド祭への救護活動参加、5/23・24 の合同黙想会などについて、話し合いました。</p>	<p>◆鹿児島◆  <b>支部長 松村精子</b>            “聖五月”。皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。2~3 月と教会の血圧測定・健康相談を致しました。会話も弾み歓迎されるのですが、いつまで続けることが出来るのか？ 問題山積です。会員にマリア様のご加護が有りますように。</p>



## ●本部の活動● 2015年2月～2015年5月

4/25 (土)	第5回本部役員会	・会計監査、JCNAパンフレット、規約 ・報告書書式、広報、会費納入状況 他	磯子教会
5/25 (月)	JCNA ホームページ リニューアル	・JCNA とは ・活動 ・支部 ・通信 ・資料室 ・JCNA のあゆみ 他	ワタナベウェブ
5/25 (月)	JCNA 通信第17号発行	・第57回全国大会 in 広島 特集	—

### 図書紹介

山口宇部教会の片柳神父様から本部宛に「世界で一番大切なあなたへ マザー・テレサからの贈り物」を頂きました。一つひとつの文章と、透明感ある色彩の絵に心が澄み渡ります。

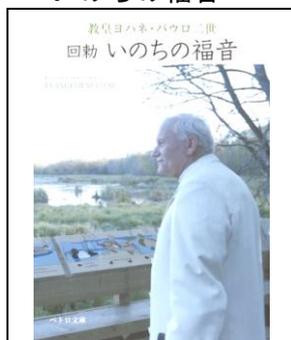
その他、カトリック中央審議会出版部様からも「JCNA 会員への推薦図書リスト」を頂きました。片柳神父様の1冊と、リストからの3冊の計4冊をご紹介します。

世界で一番  
大切なあなたへ



片柳弘史

いのちの福音



教皇ヨハネ・パウロ二世

人間の尊厳と  
科学技術



国際神学委員会

いのちへのまなざし  
21世紀へ司教団メッセージ



日本カトリック司教団



重要なお知らせ—継続会費納入のお願い  
会員期間 **9/1～翌年 8/31**。手続きはお早目に。

入会希望は本部事務局または支部へ

東松島、鳴瀬地区の仮設住宅で和服地を募集!  
〒981-0304 宮城県東松島市川下字内響 132-10  
ひびき仮設住宅①内  
社協、東松島市生活復興支援センター  
所長 片岡君江 0225-25-5795

#### 編集後記

17号をお届けします。広島大会特集を通じて、多くの方が大会にご参加くださり、共に祈り学ぶ機会になることを願います。また、広島支部のためにもお祈りします。新企画「顧問司祭から JCNA 会員への手紙」。トップバッターを務めて頂いた、太陽のように晴れやかな笑顔(可愛いですよ)の暮林響神父様に心より感謝致します。

皆様からのお便りやメール、FAX は随時募集中です。なんでもお気軽にお寄せください。よろしくお祈りします。 N.

#### JCNA 通信第17号 2015.5.25 発行

- ◇会長 西村晶子 ◇副会長 井坂玲子
- ◇書記・広報 西久保秀子
- 広報メール [jcna-honbu@outlook.com](mailto:jcna-honbu@outlook.com)
- ホームページ <http://www.jcna/info>
- ツイッター [https://twitter.com/jcna\\_honbu](https://twitter.com/jcna_honbu)
- ◇本部事務局・会計 平田初枝
- 〒179-0082 東京都練馬区錦 2-22-20-404
- 電話/FAX 03-3937-1073
- 事務局メール [joanna.de.arc@nifty.com](mailto:joanna.de.arc@nifty.com)
- ◇本部顧問司祭 飯野雅彦(カトリック磯子教会)